

ふくしま 再生 短信

10/23東京「活動開始から五年ふくしま再生の会活動報告会」開催します

※五年そしてこれから※

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------|--|
| ■2016年10月23日(日) | ■14時～15時:再生の会定期総会 | ■参加費1,000円 |
| ■場所:東京大学弥生講堂アネックス
イホクギャラリー(東大農学部内) | ■15時～18時:<5年活動報告会> | ■主催:認定NPO法人ふくしま再生の会 |
| | ■18時半～20時:懇親会 | ■共催:東京大学農学生命科学研究科ア
グリコクーン農における放射線影響FG |

8/19福島「2011-2016放射線測定報告・検討会」開催しました



【写真】報告・検討会(左・中央)と懇親会会場(右)スナップ



飯舘村の放射線測定には村の委託事業と再生の会独自の取組みがある。上のスライドは2015年3月再生の会の小原壮二さんが徒歩により独自に測定した松塚地区の農地の詳細線量マップ。

2016年8月19日午後4時から福島県庁南再エネビル内で、認定NPO法人ふくしま再生の会(田尾陽一理事長、本部事務所・東京阿佐ヶ谷)主催「放射線測定報告・検討会」が開催された。この日、5年間実際に放射線測定の協働作業を担ってきた村民測定員のみなさん、各地区の再生に取り組んできた区長さん、来春の帰村に向けて奮闘の最中の村民と村役場の方々、格別の応援をいただいた各界のみなさん、そして再生の会メンバーら80余名が参加した。

はじめに田尾さんから2011年以来の測定事業をまとめる形で「飯舘村の放射線<5年間の変化>」と題して報告が行われた。線量の現状の概要、5年間の推移、除染結

果の実例、再生の会が独自に実施した「住宅測定」の紹介、などの報告に続いて帰村に向けて「個人線量」の理解と測定の大切さを訴えた。菅野宗夫さんは「この5年間村の人と一緒に考え活動してきたことに大きな意味がある」と述べた。村役場復興対策課長の中川喜昭さんは「村をくまなく車で走りながら測ることを再生の会にお願いしてきた。長期的に見てデータが第三者のところに残ることが大切なのは」と語る。

とある会合で「暴走老人」の勇名を馳せた山田猛史さんの乾杯の発声とこの日も会場に駆けつけた前福島県知事の佐藤栄佐久さんの励ましのエールから一同限りない元気をいただいた。(文責&撮影・若林一平)